

は し が き

ジェトロ貿易白書によると、平成12年の世界貿易額は、世界的なIT投資ブームによる経済の拡大により、世界経済の成長率が高まったことなどを背景として、前年比12.3%増の6兆2,731億ドルと初めて6兆ドルを超えました。

一方、我が国の平成12年の貿易額は、輸出が4,807億ドル（前年比15.2%増）、輸入が3,811億ドル（同23.0%増）と、輸出入とも過去最高の水準となりました。特に中国からの輸入額が前年比29.0%増の553億ドルと大きく増加したこと及び貿易収支が前年比7.5%減の996億ドルとなったのは特筆すべきことです。

このような中、県が実施した平成12年の県内の貿易実態調査では、輸出が1,489億円（前年比15.3%増）、輸入が540億円（同2.0%減）、輸出入総額は2,029億円で、過去最高となり、貿易収支は949億円の輸出超過との結果がでました。

県では、地域経済の国際化を促進するため、より正確な県内貿易実態の把握に努めるとともに、海外貿易商談会や貿易セミナーの開催、インターネットを活用した取引の促進、海外交流駐在員の活用による情報の収集・発信等を行ってまいります。これにより、県内企業の国際取引を積極的に支援し、貿易の振興を通じて、地域経済の活性化を図っていくこととしておりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をいただきたいと思います。

最後に本調査に御協力いただきました関係各位に厚くお礼を申し上げますとともに、本書が本県貿易の振興と貿易実情の理解のために御活用いただければ幸いです。

平成14年2月

宮崎県商工労働部長 中馬章一